

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
経常収益				
基本財産運用益	67,826	0	0	67,826
特定資産運用益	77,600	0	0	77,600
受取会費	5,566,000	1,346,000	1,064,000	7,976,000
賛助会費	168,000	0	0	168,000
事業収益	0	2,425,015	0	2,425,015
受取補助金	12,066,000	120,000	1,300,000	13,486,000
受取負担金	1,236,000	0	0	1,236,000
受取寄附金	727,795	0	0	727,795
雑収益	262,480	63,200	318,169	643,849
経常収益計	20,171,701	3,954,215	2,682,169	26,808,085
経常費用				
事業費	20,123,562	3,423,189	0	23,546,751
管理費	0	0	2,305,855	2,305,855
経常費用計	20,123,562	3,423,189	2,305,855	25,852,606
経常増減額	48,139	531,026	376,314	955,479
固定資産受贈益	580,800	0	0	580,800
経常外増減額	580,800	0	0	580,800
一般正味財産増減額	628,939	531,026	376,314	1,536,279
一般正味財産期首残高				8,814,064
一般正味財産期末残高	628,939	531,026	376,314	10,350,343
指定正味財産期末残高				132,682,000
正味財産期末残高				143,032,343

令和4年度は、概ね順調に決算することができました。また、幸いにも固定資産受贈益 **580,800円**とありますように、デスクトップパソコン2台とビデオカメラ1台をご寄附いただきました。令和5年度からも厳しい財政状況の中ではありますが、創意工夫して事業を実施して参ります。



全育連からのお知らせ

*6月29日総会・理事会が行われ次の方が就任されました。

会長:佐々木桃子(東京都)

副会長:小島幸子(栃木県)、大谷喜博(鳥取県)、西 恵美(熊本県)、小出隆司(静岡県)

顧問:久保厚子 常務理事兼事務局長:又村あおい

*田中専務理事は3月末で退任され、(独)国立重度知的障害者総合施設のぞみの園理事長に就任されました。

兵庫県手をつなぐ育成会

Hiニュース



Vol.01

2023.7月号



メール



HP

〒651-0062 兵庫県神戸市中央区坂口通 2-1-1 兵庫県福祉センター5F TEL(078)242-4644/FAX(078)242-4069

Hiニュース はじまりました!

<私たちがお届けします>



上段:下村・内海
下段:井上・野田

会員の皆さま、こんにちは!

今まで年2回発行させて頂いていた「のぎく」で兵庫県手をつなぐ育成会の情報や報告など行ってきましたが、令和5年度より『Hi(兵庫県育成会略)ニュース』で会員の皆様にホヤホヤな話題や早く伝えたい内容をぎゅっと!凝縮してお届けすることになりました。

ボクはHiニュースのキャラクターです。名前を付けてね。



記念すべき第1回目は新評議員、役員、各地区会長、専門部の紹介とトピックスとして「2類から5類になりどう変わっていく?コロナ感染症」をお届けします。ご意見やご感想ありましたら県育成会までお寄せ下さい。情報提供もお待ちしております。【副理事長 下村直美】

お知らせ

申込み受付中

*地域生活援助者養成講座 **締め切り8月18日**

・8月28日より2講座ずつYouTubeによる動画配信します。講座の詳細については右のQRコードをご覧ください。



*障害児等職業体験事業(キッザニア甲子園)12月2日(土) **締め切り8月18日**

今後の予定

<兵庫県手をつなぐ育成会>

*第67回兵庫県知的障害者福祉大会

10月27日(金) 姫路市総合福祉会館

*兵庫県障害者芸術・文化祭

11月18日(土) 加古川ウエルネスパーク

<全国手をつなぐ育成会連合会>

*権利擁護セミナー 11月7日(火) 島根県松江市

*第10回育成会連合会全国大会

1月27日(土)・28日(日) 愛媛県松山市

<近畿手をつなぐ育成会連絡協議会>

*第62回近畿知的障害者福祉大会

10月21日(土) 滋賀県守山市民ホール

*近畿リーダー養成研修会

3月9日 和歌山県太地町地域福祉センター

「出前研修会」スタート

新たな試みとして「出前研修会」を企画しています。

今年度の研修会のテーマは、

「考えてみませんか、子どもの将来」

研修会は、講演とテーマに沿った相談会との2部構成

また、講演は次の3つのコースから選んでいただきます。

- 1 「教えて!障害基礎年金」コース
- 2 「福祉サービスについて考える」コース

3 従来から実施している「親なきあと相談」コース

詳細はこれからになりますが、近々各地区育成会に希望をお聞きます。

ぜひご参加ください。

知的障がい児者・自閉症児者の生サポは 家族の安心を支えます

●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援 ●権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。

主な補償内容

病気やケガで入院したとき
入院給付金

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任保険金

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術/各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償 ※プランによって補償します

病気で死亡したとき
疾病葬儀費用保険金 ※プランによって補償します

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき
職業従事事故対応費用補償 ※プランによって補償します

*上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

生活サポート総合補償制度は...
全国で約15万人のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度の主な特長

- ▶入院給付金は既往症の病気、てんかんも補償。
- ▶全国の団体を通じてのご加入のため、多数割引が適用され、個人加入の場合に比べて保険料が割安です。
- ▶取扱代理店は、知的障がい児者や自閉症児者への保険の販売において、30年以上の実績があります。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
ジェイアイシーウエスト株式会社
〒540-0026 大阪市中央区本町1-1-1 OCT 7階
TEL: 06-6941-5187 FAX: 06-6944-1728
https://jicwest.com/
受付時間: 午前10時~午後4時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
https://www.aig.co.jp/sonpo
大阪プロチャネル営業部
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB 36階
TEL: 06-7223-2010
受付時間: 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人兵庫県知的障害児者生活サポート協会
〒651-0062 神戸市中央区坂口通 2丁目 1-1
兵庫県福祉センター 5F 手をつなぐ育成会内
TEL: 078-891-4177/FAX: 078-891-4188

2022年12月現在の内容です。(D-006319 2024-03)



令和5年度から新体制でスタートします。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

令和5年度 地区育成会会長紹介

◆評議員・理事・監事

役職	氏名	地区・所属	役職	氏名	地区・所属
評議員	尾山 健司	(社福)県社協常務理事	理事	鳥居 祐紀	尼崎市
	岡本 征	(社福)光耀会理事長		本田 洋子	西宮市
	小原 冷子	サポート協会理事長		今北 さゆり	宝塚市
	近藤 真由美	西宮市		岡田 佳奈子	加古川市
	細見 頼子	丹波篠山市		光井 早苗	高砂市
	宮本 厚子	養父市		細尾 陽子	多可町
	徳永 玉美	淡路市		立花 典子	姫路地区
理事長	井上 三枝子	尼崎市	一宮 則彦	中播磨地区(神河町)	
副理事長	内海 育子	太子町	小谷 亨	上郡町	
	下村 直美	伊丹市	中井 佳与子	豊岡市	
	野田 英紀	加西市	酒井 泰成	丹波市	
監事	小石 信子・吉田 裕明		後藤 直子	南あわじ市	

◆専門分科会担当理事

部会名	職名	担当理事	担当三役
地域生活・高齢化対策部会	部会長	本田 洋子	野田 英紀
	副部会長	中井佳与子	
	副部会長	一宮 則彦	
就労支援部会	部会長	立花 典子	内海 育子
	副部会長	光井 早苗	
	副部会長	小谷 亨	
学齢・本人活動支援部会	部会長	鳥居 祐紀	内海 育子
	副部会長	酒井 泰成	
	副部会長	後藤 直子	
施設・事業所部会	部会長	今北さゆり	下村 直美
	副部会長	岡田佳奈子	
	副部会長	細尾 陽子	
		計12名	

No.	地区名	地区育成会名	会長(理事長)名	No.	地区名	地区育成会名	会長(理事長)名
阪神南	1 尼崎	一般社団法人 尼崎市手をつなぐ育成会	とりのり 居 祐紀	中播磨	19 姫路	NPO法人 姫路地区手をつなぐ育成会	やまだ 山 直恵
	2 西宮	一般社団法人 西宮市手をつなぐ育成会	ほんだ 本 洋子		20 中播磨	中播磨地区手をつなぐ育成会	いちみや 一宮 則彦
	3 芦屋	NPO法人 芦屋市手をつなぐ育成会	あさくら 朝倉 きよ子		西播磨	21 相生	相生市手をつなぐ育成会
阪神北	4 伊丹	NPO法人 伊丹市手をつなぐ育成会	しもむら 下村 なおみ	22 たつの		たつの市手をつなぐ育成会	やの 野 かつら
	5 宝塚	一般社団法人 宝塚市手をつなぐ育成会	いまた 今北 さゆり	23 赤穂		赤穂市手をつなぐ育成会	おきた ちきこ
	6 川西	NPO法人 川西市手をつなぐ育成会	むらた 村 美由紀	24 太子	太子町手をつなぐ育成会	うつみ いくこ	
東播磨	7 三田	NPO法人 三田市手をつなぐ育成会	いちかわ 市川 修子	25 上郡	上郡町手をつなぐ育成会	こたに 谷 孝	
	8 猪名川	猪名川町手をつなぐ育成会	た 田 ちかほ	26 佐用	佐用町手をつなぐ育成会	きむら 村 まさ	
	9 明石	明石地区手をつなぐ育成会	しかた 四方 成之	27 宍粟	宍粟市手をつなぐ育成会	あ見 あたり 智	
但馬	10 加古川	加古川市手をつなぐ育成会	くすのきのぶ 楠木 紳子	丹波	28 豊岡	認定NPO法人 はばたけ手をつなぐ育成会	なかい 中井 佳与子
	11 高砂	高砂市手をつなぐ育成会	みつ 光 早苗		29 美方	美方郡手をつなぐ育成会	ひやうが 日向 ともこ
	12 東播磨	東播磨地区手をつなぐ育成会	こやま 小山 りつ子		30 養父	養父市手をつなぐ育成会	みやもと 宮本 厚子
北播磨	13 西脇	NPO法人 西脇市手をつなぐ育成会	たけなか 竹中 敏文	31 朝来	朝来市手をつなぐ育成会	あおた 青田 久美子	
	14 三木	NPO法人 三木市手をつなぐ育成会	ちようだ 長田 幸恵	32 丹波	丹波市手をつなぐ育成会	さかい 酒井 やすなり	
	15 小野	小野市ひまわり会	くろ田 黒田 みちる	33 丹波篠山	丹波篠山市手をつなぐ育成会	はたけなか 中 悦子	
淡路	16 加西	NPO法人 加西市手をつなぐ育成会	の 野 田 えい紀	34 洲本	洲本市手をつなぐ育成会	かわら 川 悠子	
	17 加東	加東市手をつなぐ育成会	おおいし 大西 ひとみ	35 淡路	淡路市手をつなぐ育成会	とくなが 徳永 たまみ	
	18 多可	多可町手をつなぐ育成会	よしもと 吉本 優	36 南あわじ	南あわじ市手をつなぐ育成会	ごとう 後藤 なお子	



2類から5類になりどう変わっていく?コロナ感染症



5月8日から、新型コロナウイルスがインフルエンザと同じ5類感染症に変わり、行動制限・医療機関の対応・公費負担など具体的に何がどう変わるのでしょうか。



	現在(2類相当)	5類移行で...
行動制限など	できる	できない
医療機関	発熱外来など一部	幅広い医療機関
医療費	全額公費負担	当面は公費負担
感染者報告	全数	定点
マスク着用	屋内では推奨	個人の判断(感染予防は推奨)
ワクチン	無料	必要な接種 自己負担なし
大規模イベント(催し)の制限	定員の50%	対策行えば100%



①感染時の検査費用は?

発熱等の症状がある場合、抗原検査やPCR検査は自己負担(2,000円台から3,000円台)となります。一方で、重症化リスクの高い人が多い障害者施設等で、感染者が出た際の検査を都道府県が行う場合は、「行政検査」として無料となります。

②外来診療の窓口負担は?

今までは無料でしたが自己負担となります。

外来医療費の比較		
	新型コロナウイルス (発熱外来と治療室別)	季節性インフルエンザ (発熱外来とタミフル処方)
70歳未満 負担3割	最大4170円	最大4450円
75歳以上 負担1割	最大1390円	最大1480円

厚生労働省の試算より作成

③入院費用は?

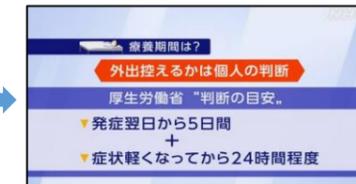
医療費や食事は自己負担となります。(但し9月末まで高額療養費制度の自己負担限度額から2万円を減額) 厚生労働省の試算では、入院する割合が高い75歳以上のうち、住民税が非課税でなく年収が383万円までの人が中等症10日間入院した場合は、自己負担3万7600円となるほか、別に食事代1万3800円かかります。しかし、10月以降、補助が無くなれば、入院治療費は5万7600円プラス食事代となります。

④治療薬の費用は?

高額なコロナの治療薬「ラゲブリオ」は夏の感染拡大も想定し、9月末まで引き続き公費で負担されますが、仮に10月以降公費負担が無くなれば外来での最大自己負担は3万2470円になります。

⑤感染者の外出自粛は?

個人の判断となりますが、厚労省の目安は図の通り



⑥ワクチン接種は?

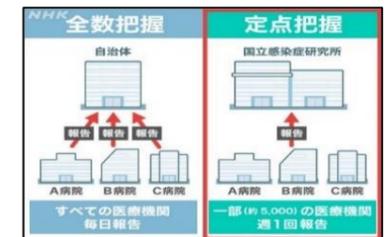
現在行われている無料での接種は、2024年3月まで継続されます。65歳以上、基礎疾患のある人(知的障害者含む)、医療従事者(障害者施設従事者含む)には、5月からと9月からの年2回の接種を行い、重症化リスクが高くない人は、9月からの1回のみ接種が受けられます。

⑦医療機関の対応は?

入院の受け入れや診療できるのはこれまで感染症指定医療機関や発熱外来など一部の医療機関だけでしたが、「5類」移行後は幅広い医療機関で対応できるよう、段階的に移行する方針です。

⑧感染者数の把握は?

以前のような「全数把握」はなくなり、インフルエンザと同じように「定点把握」となります。



今後の感染状況については、週1回の「定点把握」となるため、正確な感染状況の把握はできなくなります。加えて、5類に移行したことにより危機感が薄れ、再び大きな流行を招く可能性もあります。また検査や受診時、費用が発生することから、検査控えや受診控えが起こり、感染拡大につながることも懸念されます。日常生活を取り戻すためには、出来る限りの対策が重要であり、そういった行動が感染拡大の抑制につながるのではないのでしょうか。

